

044

男女共同参画や LGBT の方々への理解の視点を取り入れた防災講座の開催

取組主体

NPO 法人御前崎災害支援ネットワーク

従業員数

45 人

想定災害

全般

実施地域

静岡県

- 「行政に頼らない自助・共助・協働」を啓蒙する活動として、災害ボランティア活動、学校防災授業、女性のための防災・減災リーダー養成講座等のほか、男女共同参画や LGBT の視点を取り入れた防災講座を開催した。

1 取組の特徴（はじめたきっかけ、狙い、効果、工夫した点、苦労した点）

女性の防災・減災リーダー育成、男女共同参画や LGBT への理解といった視点を取り入れた防災講座を開催

- 静岡県御前崎市を拠点に防災の啓蒙活動等を行う NPO 法人御前崎災害支援ネットワークは、新潟県中越地震とスマトラ沖地震で発生した津波を機に、東海地震のリスクに備え、御前崎市民に「行政に頼らない自助・共助・協働」を啓蒙する活動を行うために平成 19 年に設立された。その後、毎年防災講演会を開催している。
- 東日本大震災が発生した際に岩手県大槌町にボランティアバスを 10 回運行するなどの活動が評価され、日々の活動に御前崎市危機管理課の協力を得られるようになった。平成 25 年から令和元年まで開催した「女性のための防災・減災リーダー養成講座」は、会場費や職員派遣等を市役所が協力して開催された。同講座は、2 日間で専門性に長けた講師による講座と実践訓練を行い、リーダーを計 285 名育成した。
- コロナ禍で令和 2 年は非開催だったが、令和 3 年からは名称を変更し、自主防災組織に男女共同参画の視点を取り入れてもらう目的で「男女共同参画における防災・減災講座」を開催している。また、県民に防災・減災や避難生活での多様性及び LGBT の方々の生き難さを理解してもらう目的で「LGBT と防災」の講演会も開催した。
- その他の活動として、「学校防災授業」では、津波浸水域に住む子どものための DIG（災害図上訓練）等を行っている。「避難所運営研修会（自主防災組織向け）」では、自主防災会長が 1 年ごとに代わり、自治会長を兼務していることを踏まえ、毎年 HUG（避難所運営ゲーム）や避難所の役割運営等の研修を開催している。



女性のための防災・減災
リーダー養成講座



小学校での防災授業

2 取組の平時における利活用の状況や防災・減災以外の効果

- 御前崎ケーブルテレビで繰り返し講演会等の様子が放送されたことで、市民の防災意識の向上につながった。

3 現状の課題・今後の展開等

- 同法人で計画や運営に携わる理事の年齢層が高く、30～40 歳代の理事を探すのに苦労している。講座等の参加者も年齢層の高い方が多く、子育て世代や若い夫婦等の参加を増やす必要がある。
- 今後は学校区等で小規模に講座を開催していくことや、子ども防災士の育成に取り組むことを計画している。

担当者の声

- 災害ボランティア活動を活かした防災・減災講座、自主防災組織向け避難所運営研修会を企画、開催しています。防災・減災、避難生活に必要な人材を育成することも重要な課題として取り組んでいます。
- 御前崎災害支援ネットワークの目的は「災害時に行政を頼らない自助・共助・協働」の推進です。その目的が少しでも市民や県民に理解できるような活動を目指しています。

問合せ先

NPO 法人御前崎災害支援ネットワーク 法人番号：6080405006570
TEL：0537-86-2053 FAX：0537-86-2053 E-Mail：omaezaki-dsnet@shore.ocn.ne.jp

サイト URL

